環境管理総括者	環境管理責任者	事務局	作成者

令和5年度　町全体の目的・目標・実施結果一覧

項目		目的	具体的目標	R5年度実績	環境マネジメントプログラム		
					実施項目（手段）	日程	実行部門
環境負荷項目	省資源省エネ	電気使用による二酸化炭素排出量を削減する	平成25年度比 45%以上削減 （平成25年度二酸化炭素排出量　1,125t-CO2） 目標値　618t-CO2	令和5年度二酸化炭素排出量　731t-CO2 目標達成度84.5%	空調設備の使用管理を徹底する	6月～9月、12月～3月	全部署
					会議室等の使用時、冷暖房の温度を適切に調整管理する	6月～9月、12月～3月	全部署
					昼休みは本庁の窓口・共通部分以外の消灯を徹底する	通年	全部署
					パソコン、コピー機等の事務機器の不使用時に電源をこまめに切る	通年	全部署
					ノー残業デーを推進する（毎週水曜日）	通年	全部署
					省エネルギー対応機器への変換を促進する	更新時	全部署
	省資源・省エネ、排ガス削減	公用自動車のガソリン使用量を削減する	平成25年度比15%以上削減 （平成25年度使用量　38,330.1㍑） 目標値　32,580.6㍑	令和5年度使用量　28,616.8㍑ 目標達成度　113.9%（25.3%削減）	同一方向の相互利用	通年	全部署
					不要なアイドリング、空ぶかし、急加速、急発進をしない	通年	全部署
					急ブレーキをかけるような運転をしない	通年	全部署
		公用自動車の軽油使用量を削減する	平成25年度比45%以上削減 （平成25年度使用量　15,075.9㍑） 目標値　8,291.7㍑	令和5年度使用量　7,189.1㍑ 目標達成度　115.3%（52.3%削減）	無駄な荷物を積まない	通年	全部署
					適切な点検整備を行う	通年	全部署
					法定速度内で経済速度（一般道路40～60km/h、高速道路80km/h）走行を心掛ける	通年	全部署
		通勤時による排ガス（CO2）排出削減	CO_2排出削減（努力目標）	通勤時及び各種会合・研修会時に公共交通機関利用及び乗り合わせ等を行った	通勤に自転車、乗合、公共交通機関を利用する	通年	全部署
	省資源省エネ	灯油の使用量を削減する	平成25年度比50%以上削減 （平成25年度使用量　44,545.0㍑） 目標値　22,272.5㍑	令和5年度使用量　21,358.0㍑ 目標達成度　104.3%（52.1%削減）	ストーブ等の使用をできるだけ控える	12月～3月	全部署
		LPガス使用量を削減する	平成25年度比75%以上削減 （平成25年度使用量　5,095.9㎥） 目標値　1,274.0㎥	令和5年度使用量　1,230.2㎥ 目標達成度103.6%（75.9%削減）	給湯器、ガスコンロの使用管理を徹底する	通年	該当部署
	省 資 源	水道使用量を削減する	可能な限り削減	令和5年度使用量　22,220.0㎥ 平成25年度使用量　24,698.0㎥ 平成25年度比削減率　10.0%削減	必要な量の使用を徹底し、節水を促進する	通年	全部署
					トイレ用擬音装置の使用を徹底し、節水を促進する	通年	全部署
		紙使用量を削減する	可能な限り削減	令和5年度使用量　2,450.532枚 平成25年度使用量　2,182.477枚 平成25年度比削減率　12.3%増加	両面コピーを徹底する	通年	全部署
					会議、配付資料の必要部数の最少化を推進する	通年	全部署
					リサイクル封筒の使用を推進する	通年	全部署
					資料の個別所有を制限し、担当内での共有化を推進する	通年	全部署
					ミスコピー等の裏面再利用、メモ用紙への再利用を促進する	通年	全部署
					ファイルの再利用を推進する	通年	全部署
	可燃物の排出量削減	可燃物の排出量を抑制する	可能な限り削減	令和5年度排出量　39,230.3kg 平成25年度排出量　44,217.4kg 平成25年度比削減率　11.3%削減	廃棄物処理運用手順書に基づき、リサイクルを徹底し可燃物の排出量を削減する	通年	全部署
環境保全項目	グリーン購入の推進	グリーン購入の推進・普及を図る	指定物品については、原則グリーン購入を行う	町全体　98.0%	調達方針の定めにより推進を図る	通年	全部署
	廃棄物の削減	資源ごみの分別を徹底し、リサイクルを推進する	廃棄物処理運用手順書に基づく取組の徹底や見直しを行い、さらに推進する	廃棄物処理運用手順書に基づき取組を行った	ビン類、カン、プラスチック、ペットボトル、トレイに分別して排出	通年	全部署
					古紙類、シュレッダー屑、段ボール等を分別して排出	通年	全部署
	公共事業の環境配慮	設計金額500万円以上の工事について手順書により環境配慮を行なう	公共工事環境配慮手順書に基づく取組の徹底や施工業者と連携を図り推進する	該当部署において公共工事環境配慮手順書に基づき取組を行った	環境に配慮した設計及び施工方法の確認	設計時	該当部署
					建設副産物、建設発生土及び建設廃棄物の取扱いの確認	設計及び事業完了時	該当部署
					その他環境に配慮した事項の確認	設計時	該当部署
	イベント・行事等における環境配慮	町の行うイベント・行事等について環境配慮を行なう	イベント環境配慮手順書に基づき推進する	イベント環境配慮手順書に基づき、担当部署が主体となって取組を行った	環境負荷の少ない物品の使用、廃棄物の抑制、ごみの持ち帰り、分別徹底、リサイクル、マイクロ送迎や自転車、乗り合わせ、公共交通機関の利用促進	イベント・行事開催時	該当部署

令和5年度八頭町全体の目的・目標・実施結果一覧

項目	目的	具体的目標	計　画	R5年度結果	環境マネジメントプログラム	
					実施項目（手段）	実行部門
環境保全項目	事務における環境配慮 資源再利用の促進	昨年度排出量より削減	分別やコピー用紙の無駄を減らしごみ排出量を削減する	R4年度　40,152.8kg R5年度　39,230.3kg	紙類は可燃ごみに含めず、再生古紙として業者へ出す ミスプリントを減らし、裏面使用を積極的に行う等可燃物への紙を減らす	総務課
	各家庭の太陽光設置の推進	年間16件	県と連携を図り、補助金制度の拡充を行い、家庭での地球温暖化防止、温室効果ガス排出削減に寄与する	年間15件（達成率94%） 支払総額　2,725,340円	県と連携を図り、太陽光発電システム設置等に係る補助金制度の拡充に努める	企画課・地域戦略室
	口座振替の推進		各種税金の期限内納付と口座振替の推進を図る	毎月20日過ぎに2日間（年間24回）納付期限のお知らせと口座振替推進の放送を朝晩の無線放送で実施した	窓口での啓発、広報への記載、防災無線で推進する	税務課
	電子申告の推進		電子申告の広報・啓蒙普及を図る	窓口、チラシ等で随時電子申告の案内を行った	広報等に掲載し、窓口に案内チラシを置く	税務課
	分別の啓発		ごみの分別の啓発	区長会、広報やず等で分別についての啓発を行った	区長会やホームページで啓発を行う	町民課
	コンポストの設置促進		コンポスト（生ごみ処理機器）等の購入費補助金を行う	区長会や広報やず等により制度の内容説明や導入の啓発を行った 年間コンポスト設置数　3基	コンポストや生ごみ処理機の購入費補助金要綱に基づき推進する	町民課
	生ごみ分別回収促進	5集落/年　程度追加	生ごみ分別回収、液堆肥化リサイクルの集落を増やす	区長会や広報やず等で制度の内容説明や導入の啓発を行った 55集落・R5の追加1集落	区長会で取組の推進を行う	町民課
	古紙回収の実施		家庭の古紙回収日を設定し、定期的に回収する	計6回実施（5,7,9,11,1,3月） 回収量合計　24,687kg	該当集落には古紙回収カレンダーを配布し、回収を啓発する	町民課
	資源回収事業の奨励	参加10団体/年	参加団体を増やす	実施回数28件 補助金額　656,444円	資源回収等を行った団体に対し、補助金を出す	町民課
	各家庭の処理困難廃棄物の回収	年1回	回収日を年1回設定し、各地域ごとに回収を行う	11/18に回収を実施した	広報で回収日を掲載し周知を図り、適正に処理がされるよう回収を行う	町民課
	ごみ不法投棄対策の推進	月4日程度	ごみ不法投棄を監視し防止の啓発を行う	環境監視員2名による監視を実施（月に4日） 回収総量　36.3kg	環境パトロールを実施したり、防災無線や広報誌を活用し啓発する	町民課
	イベント・行事等における環境配慮	主催する全てのイベント及び行事	町の行うイベント・行事等について環境配慮を行い、ごみの排出について町民への啓発や協力を求める	各種イベントで再利用できる物品は極力再利用した また環境に配慮した物品を可能な範囲で使用し、会場では廃棄物の分別、ごみの持ち帰りを徹底した	各種イベント、祭りにおいて資源再利用を図り廃棄物を抑制し、準備及び当日においてもごみの分別を徹底したり公用交通機関の利用促進を行う	産業観光課・商工観光室
	緑化事業の啓発普及		緑化事業の啓発を図る 緑の羽共同募金を実施する 一株植樹運動を実施する	緑の募金運動の実施 （年2回、募金額：949,742円） 「一株植樹」運動実施	緑化事業について区長会で事業説明をし集落や個人での植樹の推進を図る 緑の羽共同募金について区長会で協力依頼を行う	産業観光課
	間伐事業及び作業道の開設による整備の推進	間伐：年間245.01ha 作業道開設：年間30,000m	間伐事業により健全な森林の整備を推進する 森林整備のための作業道開設を推進する	間伐事業を推進（80.0ha） 作業道開設事業の推進（11,860m）	国・県の補助制度を活用する	産業観光課
	公共事業の環境配慮		公共工事環境配慮手順書に基づき取組を行う	該当事業なし	公共工事環境配慮手順書に基づく取組の徹底や施工業者と連携を図り推進する	産業観光課
	竹チップ・パウダーの推進		竹林の有効活用を図り、竹チップやパウダーの製造の推進を図る	竹林整備事業の実施	竹林整備事業等への竹林間伐により発生する竹材の有効活用を図る 竹チップやパウダーの製造について広報紙やホームページに掲載し推進を図る	産業観光課
	鳥インフルエンザ対策		発生時の対応を的確に行う	該当事象なし	疑いのある案件を含め、迅速な対応を行い、被害を最小限にとどめるよう努める	産業観光課
	口蹄疫対策		発生時の対応を的確に行う	豚熱の流行が継続しているため、感染拡大防止に努めた。	疑いのある案件を含め、迅速な対応を行い、被害を最小限にとどめるよう努める	産業観光課
	コイヘルペス対策		発生時の対応を的確に行う	該当事象なし	疑いのある案件を含め、迅速な対応を行い、被害を最小限にとどめるよう努める	産業観光課
	農地の集積化		農業経営基盤強化促進法による利用権設定及び中間管理事業により農地の集積を図る	利用権設定（新規）　年間489筆、68ha 利用権設定（更新）　年間772筆、127.7ha	両制度を広く周知し農地が有効に活用されるよう推進する	農業委員会事務局
	公共事業の環境配慮		環境配慮に考慮し工事を発注する	環境負荷の低減に配慮した発注を行った。（町営住宅家都宮団地改修工事、カセオ11号線改良工事、金水橋歩道橋架設工事）	可能な限り再生材を使用し、無駄のない事業計画を進め環境配慮を行う	建設課
	集落沿線等の清掃活動	年1回	8月に各地域ごとに町内一斉清掃を行う	8月6日に3年ぶりに実施した。	建設業協会、郵便局等と共催で行い、チラシ等で一般参加者にも参加を呼び掛ける	建設課
	健診時の環境配慮		個別受診券の導入により業務を効率化し、町民の負担を軽減する	・パソコン受付導入により業務の効率化が図られた ・受診人数に応じて健診車の台数を増やし、待ち時間の解消に努めた ・必要に応じて検診に関するパンフレットを配布し、健康意識の向上を図った ・スタッフが空いている検診へ誘導するなどし、待ち時間の解消に努めた	健診会場で人数調整を行う等適切に誘導し、待ち時間を短縮する 個別受診券の導入により、かかりつけ等の個人医院での受診をし易くする	保健課
環境保全項目	健診受診率の向上	年間受診率 胃がん検診50．0% 肺がん検診　50．0% 大腸がん検診　50．0% 子宮がん検診　50．0% 乳がん検診　25．0%	健診、がん検診の受診率を向上させ、病気の早期発見、早期治療に努め、医療費を抑制する	・受診券を個別郵送し配布 ・広報、防災無線等による周知 ・健康づくり推進員への受診勧奨チラシの配布依頼と周知依頼 ・がん検診料、特定検診料の無料化（継続） ・健診会場の適正配置 ・健康づくり推進委員会での健康講座の開催 受診者数 胃がん　1,772/5,674人　31．2% 肺がん　2,394/5,674人　42．2% 大腸がん　2,166/5,674人　38．2% 子宮がん　1,181/5,674人　20．8% 乳がん　617/5,674人　10．9%	啓発ポスターやチラシを使って啓発したり、街頭キャンペーン等の活動を行う。 各集落の健康づくり推進員による健診前の説明会を開催し、健診受診の推進及び健康意識の向上を図る	保健課
	事業における環境配慮及び取組の啓発		各種相談、健康教室等で環境保全啓発を行う	・教室等で食材の廃棄を減らす取り組みを実施、研修会参加者の重複をなくし、無駄を無くした ・健康づくり推進員会、食生活推進協議会、各集落健康教室、健康相談会、転倒予防教室、家族介護教室での啓発活動を実施	各種相談や開催する教室での資源の再利用やごみの減量化を図り、環境に配慮した事業及び啓発を行う	保健課
	節電の推進		クールビズ及びウォームビズの徹底を図る	節電の取組を周知し、一人一人がクールビズ・ウォームビズの取組を積極的に実践した	各自が意識して取組む	地域包括支援センター
	資源ごみの分別及びリサイクルの推進		分別を徹底し、リサイクルを推進する	廃棄物と資源の分別を徹底しごみの減量に努めた	各自が意識して取り組む	福祉課
	紙使用量の削減		積極的に両面、裏面使用に努め、紙使用量を減らす	可能な範囲で両面コピーを行い、裏面のメモ用紙化を促進し、紙の使用量削減に努めた	各自が意識して取り組む	福祉課
	グリーン購入の推進及び普及	指定物品100%	環境配慮物品の購入を促進する	環境配慮物品の購入を実施	物品購入時は可能な限りグリーン購入を実施する	福祉課
	節電の推進		電灯及び空調を適切に使用する	各部屋に貼紙をして利用者の協力を得ながら、適正な温度管理の徹底を行い、こまめな消灯にも努めた。	不要な電灯はこまめに切り、空調設備は適正な温度管理を徹底し使用し、利用者にも啓発を行う	中央公民館
	公用車の適正使用の推進		公用車の同一方向への乗り合わせを徹底する	公用車の乗り合わせに積極的に取り組んだ	職員同士の声かけをする	中央公民館
	廃棄物の削減の推進		古紙の再利用を図る等事務事業でのごみの減量をするとともに、各種講座でのごみの減量を推進する	利用者にゴミの持ち帰りを呼びかけ、事業所ごみの減量に努めた。	裏面使用やミスコピーの減量を図り、各種講座でのごみの減量を啓発するなど廃棄物の削減に努める	中央公民館
	町内産、県内産の食材の利用	地元産　40%　県内産　40% 国内産　20%　外国産　0%	地産地消を推進する	地産地消を推進したが、地元産野菜の量が確保できないこともあり、目標を下回った 地元産　30%　県内産　41% 国内産　29%　外国産0%	生産者と連携を図り、地元産の食材を有効に活用する	学校給食共同調理場
	環境保全教育の実施		環境保全意識の啓発を行う	夏祭りのテーマパーク作りやひな人形作りを廃材で行った。子どもたちの中で廃材利用や紙の再利用が習慣化してきている。	各年齢に合わせた廃材利用の製作	都家東保育所
	節電・節水の推進		節電・節水を呼び掛けたが、厳しい暑さや子どもたちの健康管理や職員の健康を考えると節電・節水が難しかった。	節電や節水を呼び掛けたが、厳しい暑さや子どもたちの健康管理や職員の健康を考えると節電・節水が難しかった。	エアコンの適正使用 緑のカーテン・シェード等の利用	都家東保育所
	節電・節水の推進		エネルギーの削減に努める	子どもたちが節水を意識して手洗い等ができるように声かけを行い、蛇口の工夫により低年齢児でも蛇口を閉めやすくなった	不要な電源はこまめに切り、水流の調整や蛇口の点検を行う	都家保育所
	環境保全教育の実施		年間計画に基づき環境保全教育を実施し、廃材利用活動や菜園活動、花壇活動等を行う	参観日等で廃材を使った活動を行い、家庭への協力を求め、啓発に結び付けることができた。廃材を利用して玩具を作るおもしろさを味わいながら物を長く大切に使えることを感じることができた	さまざまな環境保全に関する保育活動を行う。 廃材を利用した製作等を行う	都家保育所
	環境保全教育の実施		保全環境教育・啓発を図る	草取りは定期的に行えず不十分だったが、ゴミの分別、節水などを各クラスで年齢にあった伝え方で知らせた	草取りやごみの分別などを定期的に呼びかけ取り組む	国中保育所
	廃材の保育教材への活用		節電・節水の意識づけを行う	廃材(牛乳パック、新聞紙、広告等)を玩具や工作、お化け屋敷として遊んだ	保育所から出る廃材を使用したり、各家庭へ廃材の回収を依頼し、保育教材として使用する	国中保育所
	節電・節水の推進		節電・節水を日々心掛ける	職員間で情報共有し、節電節水に努めた。部屋の使用状況により、節電に協力してもらえるところもあった。	保育者が率先して取り組むとともに、利用者やファミリーサポートセンターへも理解と協力を依頼する	子育て支援センター
	資源再利用の促進		裏面使用を推進する	裏面使用に努めた。	ミスコピーの裏面使用、メモ用紙への再利用を推進する	子育て支援センター
	廃棄物の削減の推進		利用者へごみの持ち帰りを推進する	イベントでは会場での飲食が少なかったので、ゴミも少量となった。	利用案内にごみの持ち帰りについて明記し、利用者へ協力依頼を行う	子育て支援センター
	環境保全図書の購入及び提供	年間4冊（3館合計）	環境保全を目的として図書を購入する マイバック利用の啓発を行う	年間4冊購入し、図書館利用者のマイバック利用も100%を達成できた	環境保全に関する書籍を購入し、貸し出しを推進することで、地域住民の環境保全意識の向上を図る	都家図書館
	節電・節水等の推進		節電・節水を日々心掛け、裏面使用を推進する	節電・節水に取り組んだ。使用削減率達成度：電気 97%、ガス 112%、水道116%、紙103%	電気をこまめに切る、残業時の照明は最低限にする、ガスの利用調整、トイレの擬音装置の使用、紙の両面使用を推進する	船岡住民課
	口座振替の推進	年間20件	来庁者に口座振替による納付、電子申請や申告を推進する	口座振替、電子申請を積極的に推進した。年間55件	主に転入者や高齢者等の窓口来庁者へ口座振替による支払いや納税を勧める	船岡住民課
	節電の推進		各水道施設や下水道施設の電気使用量を前年度より削減する	電気使用量削減達成率　水道施設99．7%　下水道施設　100%	早めの漏水の修繕を行う ポンプ稼働時間の効率的な維持管理に努める	上下水道課
環境保全項目	水道施設の適切な維持管理		水道の適切な維持管理、有収率の向上に努める	水道有収率　79．5%　下水道接続率　93．6%	定期的に水質検査を行ったり、定期的に点検等を行い早期に漏水に対処し、水道施設を効率的に運営する	上下水道課
	環境関連研修の実施	年1回	議員のEMS研修を実施する	実施なし	一般職員向けの研修に議員も参加するよう推進する	議会事務局
	広報紙による環境情報の提供		議会だよりに啓発等の関連スペースを常設する	議会だよりに環境にやさしい再生紙及び大豆油インキを使用して作成し、啓発等の関連スペースを常設した。	環境にやさしい再生紙及び大豆油インキを使用して作成する 議会だよりを通して環境情報の提供を行う	議会事務局
	節電の推進		ノー残業デーを推進する	ノー残業デーを推進し、水曜日に残業は行わなかった	水曜日の始業時と終業時に蛍長から周知を行い、実施を促進する	地籍調査課
	情報提供サービス	100%	地籍調査完了地区の土地データの数値情報化を行う。	地籍調査完了地区の土地データの数値情報化を100%達成した	地籍調査完了地区の土地データの数値情報化を行う	地籍調査課
	廃材の保育教材への活用		廃材を保育活動で活用し、もの を大切にする心を育てる	廃材を使った工作を行った。	保育所から出る廃材を保育教材として使用する ゴミの分別について話し合う	船岡保育所
	節電・節水の推進		節電・節水を日々心掛ける	緑のカーテン・シェード等の利用により節電に努めた。	エアコンの適正使用 緑のカーテン・シェード等の利用	船岡保育所
	省エネ・省資源の推進		節電・節水を日々心掛ける 証明書、納付書等の発行ミスの件数を記録する	節電・節水の声掛けをしたり、積極的に取り組んだ	電源をこまめに切る、ガスの適正使用、トイレ用擬音装置の使用 申請者に十分聞き取りを行い、不必要な証明書や納付書の発行を減らす	八東住民課
	口座振替の推進	推進件数10件	来庁者等に口座振替による納付を推進する	税金等の納め忘れの来庁者に案内した。推進件数45件	納税のために来庁された者に口座振替を推進する	八東住民課
	イベント・行事等における環境配慮		実施するイベント・行事等について環境配慮を行う	参加を電子申請サービスで募集し、オンライン配信を行ったことで車の往来を抑制できた他、インターネットでアンケートを回答可能とし、用紙を削減できた	人権尊重のまちづくり講演会及び部落解放研究集会の開催にあたり、申し込みに電子申請を取り入れ、参加者へネットでの視聴を呼びかける	人権推進課
	省エネ・省資源の推進		節電を日々心掛ける 車の乗り合わせに努める	紙の裏面利用を心掛け、クールビズ、ウォームビズを意識した服装を心がけ、適切な空調の温度管理に努めた	電源をこまめに切り、紙の裏面利用を推進 職員同士で声を掛け合い、車の乗り合わせに努める	人権推進課
	イベント・行事等における環境配慮		実施するイベント・行事等について環境配慮を行う	チラシ配布やイベント実施時にできる限りの紙の使用量の削減に努めた	資料やチラシの作成時に必要部数のみ印刷する	男女共同参画センター
	資源ごみの分別及びリサイクルの推進		ゴミの分別・リサイクルを推進する	資源ごみの分別を徹底し、リサイクルを推進した	ゴミの分別・裏面利用などリサイクルを推進する	男女共同参画センター
	資源ごみの分別及びリサイクルの推進		廃棄物処理運用手順書に基づく取組の徹底や見直しを行い、さらに推進する	分別を徹底し、紙類は裏面利用に活用、リサイクルを徹底した	ゴミ分別の徹底を行う	学校教育課
	ノー残業デーの推進		毎週水曜日をノー残業デーとして取組を行う	仕事の進捗状況等についてコミュニケーションをとりながら残業をしないように心掛けた。ノー残業デー実績：27日	水曜日の朝礼に職員へ啓発を行う	学校教育課
	イベント・行事等における環境配慮		実施事業における環境配慮と共に、町民への環境配慮協力依頼、環境保全の普及啓発を行う	イベント開催時に廃棄物の分別、リサイクルの徹底、参加者の乗り合わせや公共交通機関の利用の呼びかけを行った	各地域通学合宿やマラソン大会、成人式を実施するにあたり、参加者への啓発を行いながら取り組む	社会教育課
	節電・節水の推進		節電・節水を日々心掛ける	水道が、手洗い等必要なことに使う時と無駄な使い方をしない等のメリハリをたてるよう、に推進した	残り紙等をし、日々意識できるようにしていく	八東保育所
	節電の推進		電気の適正利用に努め、利用者にも啓発する	冷暖房について、利用者へ適正温度で使用するよう注意喚起を行った	電灯や空調の適正利用を率先して行い、また利用者にも声を掛ける等協力依頼をする	中央人権啓発センター